

志教育の 視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input type="checkbox"/> はたす
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動名	「進路講座」
教科・領域等	課外活動
活動学年等	全学年（全年度生）
ねらい	通信制高校における各生徒の実情に応じた指導を行うことにより、就労や自立に向けた支援を目的とする。

1 「進路講座」の概要

本校では、全校的な進路行事の他に、課外活動として「進路講座」を次表のとおり実施している。

コース	対象生徒・概要	講座名
ベーシック	進路について考え始めていくスタート講座です。進路未定で悩んでいる生徒向けに楽しいコミュニケーションを経験して不安を減らしたり、自分が何に向いているかという適性について調べたりします。	リラックス・コミュニケーション
		みたぞのカフェ
		キャリア講話
		職業適性検査・職業探究セミナー
就職支援	就職を目指す生徒向けに、企業を見学して職業研究を行い、また実践的に履歴書作成や面接練習をする講座です。	企業見学会
		就職応募説明会
		就職セミナー
		ビジネス・マナー
進学支援	大学等への進学希望者向けに、学習の方法や小論文の書き方について学ぶ機会を設け、進学に向けた情報提供も行っています。また、外部業者の模擬試験の申込を受け付けています。「大学入学共通テスト」は在籍校をとおして出願することになっています。出願予定者は、「共通テスト説明会」へ必ず参加してください。	進学学習ガイダンス
		共通テスト説明会
		進学講演会
		小論文講座
		美田園学習会
		進学懇談会
		進学説明会
模擬試験		

2 「進路講座」 ベーシック：「リラックス・コミュニケーション」・「みたぞのカフェ」の事例

①概要

通信制である本校への入学生は、不登校経験を有する生徒が過半である。それらの生徒は、社会への自立に大きな不安を抱えるケースが多く見られる。このような実態を踏まえ、よりよい生き方を「もとめる」意欲を持たせるには、ひとと「かかわる」活動をとおして、ひとと「かかわる」楽しさを経験することが重要であると本校ではとらえている。これに向けて、次の2講座を実践している。

リラックス・コミュニケーション	演劇等の経験を有する外部講師により、身体の動きも伴うゲーム形式も採り入れたコミュニケーション活動を年6回実施
みたぞのカフェ	「りんくるみやぎ」より相談員を招き、茶話会を年2回実施

② 実施期日・参加人数

		参加生徒人数
コミュニケーショントレーニング1	4月24日(水)	6名
コミュニケーショントレーニング2	5月15日(水)	18名
コミュニケーショントレーニング3	6月12日(水)	17名
みたぞのカフェ1	7月17日(水)	9名
みたぞのカフェ2	9月25日(水)	16名
コミュニケーショントレーニング4	10月23日(水)	31名
コミュニケーショントレーニング5	11月13日(水)	10名
コミュニケーショントレーニング6	12月18日(水)	13名

③生徒の感想（校正をしない原文から一部抜粋）

【リラックス・コミュニケーション】

- 初めての参加だったため、とても緊張しました。コミュニケーショントレーニングという名前から、話をするイメージがありましたが、言葉がなくてもこんなに相手とのコミュニケーションがとれるのかと驚きました。楽しみながら参加でき、嬉しかったです。
- 写真を作る時、自分の頭の中で何を表現するか、などを考えたりするのが楽しく難しかったです。頭の体操になりました。前回よりも気持ちを軽くしながら参加できました。二人一組のゲームも難しかったけど楽しかったです。このゲームで自分は受け身なのだなと感じました。
- めっちゃ楽しいんだなあと思いました。本当に参加してよかったなあと思いました。このような場があることがとてもうれしいです。本当に楽しかったです。(みんなの好きなものとかも知りたいですね)
- すごく楽しかったです。雰囲気がいっぱい好きだなと思いました。とにかく楽しかったです。来て良かったです。とてもいい場所だと思いました。きょうやった企画で全然満足です。
- 今年最後の講座でしたが、失敗や、もう1回の大切さを改めて感じました。来年も参加したいと思います。紙しりとりをやってみたいです。
- 今日が最後なので、三年間ありがとうございました。これから卒業してもここでの出来事忘れません。

④担当教員総括・分析

ひきこもりがちだった生徒の中には、卒業を機に、4年制大学へ進み、現在では学生ボランティアとして、神戸市に招かれ、海外ボランティアにも参加するトップランナーとなるなど、その「志」によって、大きく飛躍する卒業生も見られるようになった。生徒自身の中では、確かな歩みがあり、教育効果は見られた。平成28・29年度の2年間、講師は、本校教員が担ってきたが、平成30年度から、外部講師を招くことができた。年数を重ねるにつれ、実施回数を増やすと共に、日程の適正化も行った。令和2・3年度にコロナ禍による参加人数の減少があったものの、毎年高い教育効果が得られている。次年度以降もさらに周知をはかり、必要としている生徒の参加につなげたい。